

平成29年度 上河内中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

【校是：よく学び よく鍛えよ】

☆ めざす生徒像

- ・学び鍛える生徒
- ・自他を尊ぶ生徒
- ・気力あふれる生徒

☆ めざす教師像

- ・愛と情熱にあふれる教師
- ・研きあう教師
- ・実践する教師

☆ めざす学校像

- ・楽しく学びあえる学校
- ・協に伸びる学校
- ・信頼される学校

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- (1) 生徒の「生きる力」を育成するために個に応じた教育を進め，地域に開かれた教育課程を展開し，確かな学力，豊かな人間性，健康や体力の育成に努める。
- (2) 教育目標の具現化をめざし，全教職員が意欲と使命感をもって学校経営に参画し，生徒や保護者等の信頼や期待に応える安全・安心な学校づくりに努める。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学力の向上をめざして
 - ・分かる授業の実践
 - ・書く力や発表する力など，表現する力の育成
 - 家庭学習の充実と，基礎・基本の確実な定着
- (2) 豊かな心の育成をめざして
 - ・体験活動を踏まえた道徳教育の推進と心に響く道徳の授業の工夫
 - ・地域人材を活用した読書活動の推進
 - 夢と希望に向かって力強く歩む生徒の育成（よさの伸長・自信の育成）
- (3) 健康と体力の増進をめざして
 - 食育等の健康教育の推進
 - ・進んで運動に取り組む生徒の育成と部活動の充実
- (4) 安全・安心な環境整備をめざして
 - ・いじめ等問題行動の予防と早期発見・早期対応
 - ・教育環境の整備と充実
- (5) 特別支援教育の充実をめざして
 - ・校内支援委員会を中心とした組織的な支援の工夫
 - ・通常学級における特別支援教育の充実
- (6) 教職員としての資質・能力の向上をめざして
 - ・授業力向上プロジェクトの研究テーマにそった授業公開による授業力と同僚性の向上
 - ・現職教育やOJTによる資質・能力の育成
- (7) 保護者・地域との連携強化をめざして
 - ・地域に開かれ，愛される学校づくりの推進
 - ・地域の教育力の積極的な活用と地域のために活動する生徒の育成
- (8) 小中一貫教育と地域学校園の取組の充実をめざして
 - 小学校と連携した上河内地域学校園としての活動の推進
 - ・運営会議・部会・分科会・教科部会における取組の検討と拡充

【上河内地域学校園教育ビジョン】

たくましいゆずっ子の育成 ～基本を身に付け，人とつながり，夢に向かって生きる子どもを育てよう～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人を大切にし、個に応じた教育の推進 ・教職員としての資質や能力の向上をめざした取組の実施 ・地域に開かれた教育課程の実現
【 学 習 指 導 】	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身に付け、主体的に考え表現できる生徒の育成 ・家庭学習を充実させるための課題の出し方の工夫 ○・地域学校園として学習のルール作り
【 児 童 生 徒 指 導 】	<ul style="list-style-type: none"> ○・基本的な生活習慣を身に付け、ルールを守って行動する生徒の育成 ・生徒指導部会や教育相談・特別支援教育部会を中心とした組織的な対応 ・体験活動を踏まえた道徳教育の推進
【健康（体力・保健・食・安全）】	<ul style="list-style-type: none"> ○・地域の特色を生かした食育の取組 ○・体力増強，健康増進の取組 ・生涯にわたって自ら積極的に健康な生活を営む生徒の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケートの「私は、今の学校が好きです」⇒生徒の肯定的回答 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ①入学式、卒業式を中心とした生徒主体で心を揺さぶる厳粛な儀式を実施する。 ②生徒の自主的活動を充実させられるよう生徒に考えさせる機会を数多く作り、生徒一人一人が達成感や自己肯定感を得られるような集団づくりを推進する。 	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 90.4%(昨年度より 1.7ポイント↓)で目標を 0.4ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や生徒会活動の目的や趣旨を十分理解させ、さらに充実させられるよう生徒に考えさせる機会を数多く作り、生徒一人一人が達成感や自己肯定感を得られるような集団づくりに取り組む。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】全体アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」⇒生徒の肯定的回答 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ①校内公開授業（一人一授業）や各種研修会で学んだことを生かし、さらに生徒が興味・関心をもって取り組む授業を工夫・改善する。 ②生徒に関する情報交換を密にし、協力体制の中で、より個に応じた支援を行う。 	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 97.5%(昨年度より 2.1ポイント↑)で目標を 7.5ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習ルールや学習習慣の定着を図り、校内公開授業（一人一授業）や各種研修会で学んだことを生かし、さらに生徒が意欲をもって取り組む授業を工夫・改善する。 ・生徒に関する情報交換を密にし、協力体制の中で、より個に応じた支援を行う。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】全体アンケートの「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒生徒の肯定的回答 85%以上	学校行事や委員会活動、部活動を通して生徒と対話のできる関係と雰囲気づくりを推進し、マナーを守って生活することの大切さを指導する。体育館移動時に無言で移動する。	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 81.3%(昨年度より 8.2ポイント↓)で目標を 3.7ポイント下回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や委員会活動、部活動を通して生徒と対話のできる関係づくりと雰囲気づくりを推進し、マナーを守って生活することの大切さを指導する。体育館移動時に無言で移動する。また、移動教室時の廊下の歩行マナーを指導する。

<p>A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①TTやかがやきルームの利用など少人数指導の工夫や、本時のめあてを明示し振り返りを記入させることにより、「分かる授業・できる授業」「活気あふれる授業」をめざし、指導方法の改善に努める。</p> <p>②「表現力を高め、自分の考えを伝え合う授業」をテーマとした「一人一授業」を実践し、個々の教員の授業力向上を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 92.5%(昨年度より 3.4ポイント↑)で目標を 2.5ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TTやかがやきルームの利用など少人数指導の工夫により基礎基本の定着を図り、本時のめあてを明示し振り返りを記入させることにより、「分かる授業・できる授業」をめざし、指導方法の改善に努める。 ・「表現力を高め、自分の考えを伝え合う授業」をテーマとした「一人一授業」を実践し、お互いに授業を参観し合い、個々の教員の授業力向上を図る。
<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」⇒生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①休み時間の巡回指導や教育相談、嫌な思いアンケートを利用していじめを早期に発見する努力を行う。また、生徒の不適切な言動に対して細かな声掛けを行う。</p> <p>②いじめに対しては、いじめ対策委員会で組織的かつ迅速に対応する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 95.4%(昨年度より 1.3ポイント↑)で目標を 10.4ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間の巡回指導や教育相談、嫌な思いアンケートを利用していじめを早期に発見する努力を行う。また、生徒の不適切な言動に対して細かな声掛けを行う。 ・いじめに対しては、いじめ対策委員会で組織的かつ迅速に対応する。 ・保護者会、HP、学校だより等で取組を周知する。
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>学年主任会、校務運営委員会、職員会議を効率よく運営し、共通理解や学年間の連携を深め、日課・授業・学校行事等を教育課程に基づいて適切に運用する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 97.2%(昨年度より 0.2ポイント↑)で目標を 7.2ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年主任会、校務運営委員会、職員会議を効率良く運営し、共通理解や学年間の連携を深め、日課・授業・学校行事等を教育課程に基づいて適切に運用する。
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①各種たよりの発行やHPの更新、保護者会時の説明内容の工夫を通して、積極的に話題性のある情報の発信を行う。</p> <p>②保護者会時に授業参観を実施し、生徒の学校での学習・生活状況を実感してもらう。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 96.8%(昨年度より 6.7ポイント↑)で目標を 6.8ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種たよりの発行やHPの更新、保護者会時の説明内容の工夫を通して、積極的に話題性のある情報の発信を行う。 ・保護者会時に授業参観を実施し、生徒の学校での学習・生活状況を実感してもらう。
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>家庭や上河内中学校地域協議会などと連携し、地域学校園の諸活動と関連させながら、地域人材を活用した諸活動を推進する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 91.9%(昨年度より 6.1ポイント↑)で目標を 6.9ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上河内中学校地域協議会等と連携し、地域学校園の諸活動と関連させながら、地域人材を活用した諸活動を推進したり、地域行事へ積極的に関わったりする。

<p>A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、清掃がしっかり行われ、学習しやすい」⇒生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①年度初めに清掃係から示された「清掃の取り組み方」をもとに頭おおいをして、教職員と生徒が協力して、清掃を積極的に行う。</p> <p>②美化委員会を中心に清掃用具の点検を定期的に行い、清掃用具の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 89.6%(昨年度より 4.1ポイント↓)で目標を 4.6ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに清掃係から示された「清掃の取り組み方」をもとに頭おおいをして、教職員と生徒が協力して、清掃を積極的に行う。 ・美化委員会を中心に清掃用具の点検を定期的に行い、清掃用具の充実を図る。 ・荷物の整理整頓をさせ、学習環境を整えさせる。そのための環境整備の充実を図る。 	
<p>A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている」⇒生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①地域学校園内小中学校間の連絡・調整等を密に行い、冒険活動や進学先中学校訪問等における活動の充実を図る。</p> <p>②乗り入れ授業等を通して、各学校間の児童生徒理解を進展させ、地域学校園内の学習指導や生徒指導に関する各部会の活動を活性化させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 78.3%(昨年度は未実施)で目標を 6.7ポイント下回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の日に行われる各種部会等で目的をもった協議を行い、地域学校園内小中学校間の連絡・調整等を密に行い、冒険活動や進学先中学校訪問等における活動の充実を図る。 ・地域学校園内の学習指導や生徒指導に関する各部会の活動を活性化し、各学校間の学力の向上や児童生徒理解を進展させる。 	
<p>B1 学校全体で心の教育の充実に努めている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「生徒は、思いやりをもって生活している」⇒保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①年間指導計画に沿った道徳授業の充実を図る。</p> <p>②生徒会活動を中心にボランティア活動や思いやりのある行動をした生徒に対する表彰を行い、教育長奨励賞に推薦する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 88.3%(昨年度より 7.8ポイント↑)で目標を 3.3ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に沿った道徳授業の充実を図る。 ・生徒会活動を中心にボランティア活動や思いやりのある行動をした生徒に対する表彰を行い、教育長奨励賞に推薦する。 	
<p>教育活動の状況</p>	<p>A11 生徒は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>生徒会や教職員・PTAによるあいさつ運動を活発に行うとともに、部活動であいさつ指導の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 83.4%(昨年度より 6.7ポイント↑)で目標を 3.4ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会や教職員・PTAによるあいさつ運動を活発に行うとともに、部活動であいさつ指導の充実を図る。 ・生徒自らがあいさつできるよう、指導・助言していく。
	<p>A12 生徒は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「生徒は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」⇒保護者の肯定的回答 75%以上</p>	<p>地域学校園学校生活適応部会で課題として取り上げ、小中合同で場に応じた適切な言葉遣いの継続指導を協力して行い、成果を見極める。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 79.8%(昨年度より 13.5ポイント↑)で目標を 4.8ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校園学校生活適応部会で課題として取り上げ、小中合同で場に応じた適切な言葉づかいの継続指導を協力して行い、成果を見極める。 ・正しい言葉づかいを意識している生徒が増えてきたので、場面指導を行う。

	<p>B2 生徒指導の充実・強化に努めている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「教職員はよいところを認め指導すべきところはしっかり指導している」⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>①日々の基本的な生活習慣について定期的にセルフチェックをして振り返らせ、必要な事後指導をする。</p> <p>②学級活動や学年集会などを通して、生徒の規範意識を育成する指導の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は 85.1%(昨年度より 9.8ポイント↑)で目標を 5.1ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の基本的な生活習慣について定期的にセルフチェックをして振り返らせ、必要な事後指導をする。 ・学級活動や学年集会などを通して、生徒の規範意識を育成する指導の充実を図る。
健康・体力	<p>A13 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「生徒は、休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒生徒の肯定的回答75%以上</p>	<p>昼休みに体を動かす習慣を付けるために生徒会を中心に体育的活動について話し合い、ルール決めや用品の準備をする。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 70.4%(昨年度より 0.3ポイント↓)で目標を 4.6ポイント下回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動をする生徒としない生徒の二極化が見られるので、生徒会や体育科が、スポーツイベントを企画し、生徒全員が運動する機会を設ける。 ・個人が目標をもって臨めるような、運動に関する課題を設定するなど、日常の運動習慣を促す取組を行う。
	<p>A14 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「生徒は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①学級活動、PTA食育研修会、親子調理教室などで、健康保持・増進の食事について正しい理解を図る。</p> <p>②学級懇談、保護者会で食育活動推進の協力依頼をする。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 79.6%(昨年度より 1.8ポイント↑)で目標を 0.4ポイント下回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当の日に関わる指導や、食育だより、給食時の放送などを通して、栄養のバランスについて正しく理解させる。 ・学校給食委員会や親子料理教室等を通して、保護者に食育活動推進の協力を依頼する。
	<p>B3 健康・体力の維持・増進に努めている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「生徒は、健康を考えて行動している」⇒生徒の肯定的回答90%以上</p>	<p>①新体力テストの結果から、自己の体力や日常生活を振り返らせ、より望ましい運動習慣の取組を促す。</p> <p>②定期健康診断の結果で異常があった場合には、早期の受診を勧めるとともに、保健だより等で望ましい生活習慣について啓発を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 91.7%(昨年度より 2.0ポイント↓)で目標を 1.7ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストの結果から、自己の体力や日常生活を振り返らせ、より望ましい運動習慣の取組を促す。 ・定期健康診断の結果で異常があった場合には、早期の受診を勧めるとともに、保健だより等で望ましい生活習慣について啓発を図る。
学	<p>A15 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「生徒は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>①各教科で、話し合い活動のめとなる考えや意見をまとめたり、思考を高めたりするための「書く時間」を意図的に設ける。</p> <p>②図書委員会と協力して自主学習ノートの充実を図り、家庭学習の習慣化を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 86.7%(昨年度より 1.6ポイント↓)で目標を 1.7ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてをしっかりと具体的に提示し、見通しをもたせる授業を展開する。 ・図書委員会と協力して家庭学習ノートの提出の徹底を図り、家庭学習を習慣化させる。

	<p>A16 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①「学習の心得」の内容の徹底や、地域学校園で設定した「学習のルール」の実践を図る。特にチャイム着席やノートの取り方の徹底を図る。</p> <p>②落ち着いて学習に取り組めるよう、黒板周囲の掲示物の整理など特別支援教育的な配慮をした教育環境の整備に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は75.4%(昨年度より0.3ポイント↓)で目標を4.6ポイント下回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路や3年間の学習計画を見通して授業に臨めるように、すべての教育活動を通して意識させる。 ・落ち着いて学習に取り組めるよう、黒板周囲の掲示物の整理など特別支援教育的な配慮をした教育環境の整備に努める。
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B4 自分の考えを豊かに表現する力と豊かな心（関心・感動・感謝・思いやり等）の育成が図られている。</p> <p>【数値指標】生徒へのアンケートの「生徒は、文化祭や総合的な学習の時間などで、充実した発表ができた。」⇒保護者の肯定的回答が90%以上</p>	<p>①豊かな心の育成を意図した掲示物や校内放送の充実を図る。</p> <p>②「総合的な学習の時間発表会」の準備では発表の仕方を学ばせ、発表の質を高める。</p> <p>③各行事における振り返りの内容を工夫して、自分の感動体験をより実感させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は95.3%(昨年度より1.1ポイント↓)で目標を5.3ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心の育成を意図した掲示物や校内放送の充実を図る。 ・「総合的な学習の時間発表会」の準備では発表の仕方を学ばせ、発表の質を高める。 ・各行事における振り返りの内容を工夫して、自分の感動体験をより実感させる。
	<p>B5 豊かな表現力を支える言語能力を向上させるため、読書の習慣化を図る。</p> <p>【数値指標】生徒へのアンケートの「私は、読書が好きです」⇒生徒の肯定的回答が75%以上</p>	<p>①「朝の読書」の時間が充実するように、生徒の興味関心に応じた図書の選定、探しやすく見付けやすい図書室の配架、定期的な学級文庫の入替等を行い、図書を借りやすい環境作りをする。</p> <p>②生徒会図書委員会活動の工夫による読書啓発、図書ボランティアをより活用した読み聞かせやブックトークを計画的に行い、読書に対する興味関心を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は78.3%(昨年度より2.2ポイント↑)で目標を3.3ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝の読書」の時間が充実するように、廊下の掲示物を作成し、生徒の興味関心に応じた図書の選定、探しやすく見付けやすい図書室の配架、定期的な学級文庫の入替等を行い、図書を借りやすい環境作りをする。 ・生徒会図書委員会活動の工夫による読書啓発、夏休みの心に残る一冊の発表、図書ボランティアの読み聞かせやブックトークを計画的に行い、読書に対する興味関心を高める。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・教職員、保護者、地域住民及び生徒の全アンケート81項目において、昨年度と比較可能な77項目中56項目で昨年度に比べ肯定的回答の割合が高くなり（100%→100%も含む）、20項目で低くなった。なお、4項目は新規項目である。特に、改善が見られた項目と課題がある項目は以下の通りである。さらに、市中学平均値を上回った項目は62項目中44項目になったが、引き続き課題解決に向けた取組を継続することが肝要である。

～改善が見られた項目～

- ・「教職員は協力し、生徒のよいところを認め、教えるべきことを熱心に指導している」
〔教職員 100% (→)、保護者 88.9% (12.6p ↑)、地域住民 100% (→)、生徒 97.5% (2.1p ↑)〕
- 「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」
〔教職員 96.6% (0.3p ↑)、保護者 77.1% (14.2p ↑)、地域住民 100% (4.0p ↑)、生徒 92.5% (3.4p ↑)〕
- ・「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」
〔教職員 100% (→)、保護者 75.4% (22.8p ↑)、地域住民 96.4% (0.7p ↑)、生徒 95.4% (1.3p ↑)〕
- ・「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」
〔教職員 100% (→)、保護者 96.8% (6.7p ↑)、地域住民 100% (→)〕
- ・「生徒は、朝の読書の時間・読み聞かせ・ブックトーク等を通して、読書に対する意欲を高めている」
〔教職員 100% (7.4p ↑)、保護者 85.5% (9.6p ↑)、地域住民 87.0% (8.2p ↓)、生徒 78.3% (2.2p ↑)〕

～課題がある項目～

- ・「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」
〔教職員 96.6% (4.0p ↑)、保護者 84.7% (7.7p ↑)、地域住民 97.1% (3.0p ↑)、生徒 81.3% (8.2p ↓)〕
- ・「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」
〔教職員 86.2% (6.4p ↓)、保護者 92.3% (3.9p ↑)、地域住民 97.1% (2.9p ↓)、生徒 89.6% (4.1p ↓)〕
- 「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」
〔教職員 96.6% (4.0p ↑)、保護者 82.1% (5.0p ↑)、地域住民 92.0% (0.3p ↑)、生徒 75.4% (0.3p ↓)〕

【学校運営の状況】

- ・明るく活気のある学校が維持できるよう、生徒とのコミュニケーションの機会を多くし、個に応じた支援を工夫するとともに、学校行事などで生徒一人一人が達成感を得られるような集団づくりに取り組む。〈学校運営〉
- ・教職員は、協力体制の中で、学習ルールや学習習慣の定着を図り、授業の教材研究や校内公開授業（一人一授業）の充実により、生徒の意欲を高め、より個に応じた支援を行うための指導力を高める。〈学校運営〉
- ・保護者会時の公開授業や各種学校行事で、生徒が熱心に取り組む姿を保護者や地域住民等に実際に参観してもらったり、学校HP等の様々な機会や方法で生徒が頑張る様子について情報提供をしたりする。また、教職員が生徒とともに熱心に取り組んでいる「いじめ0」のための取組について保護者会等で積極的に情報提供を行う。〈学校運営〉
- ・本時のめあてをしっかりと具体的に提示し、見通しをもたせる授業を展開することにより、基礎的・基本的内容の習得を図る。地域学校園の小学校と連携を図り、義務教育9年間を見通した学習指導を行う。〈学習〉
- ・授業と生活のきまりを守ろうという生徒の意識が高められているので、さらに、マナーを守れるような指導をする。〈生活〉
- ・荷物の整理整頓をさせるための環境整備が必要である。また、DVDプレイヤー等が各教室に設置してあると、授業で使いやすい。〈生活〉

【教育活動の状況】

- ・生徒が落ち着いて学習に取り組めるよう教育環境の整備に努める。また、「分かる授業・できる授業」となるように、校内公開授業（一人一授業）などを通して教師の授業力を向上させる。〈学習〉
- ・図書委員会と協力して家庭学習ノートの提出の徹底や家庭学習の内容の充実を図り、家庭学習を習慣化させることで授業での学びを定着させ学力を向上させる。〈学習〉
- ・時と場面に応じた言葉づかいができるよう、教師が模範となる。また、教師（大人）への言葉づかいと生徒への言葉づかいとを使い分けられるよう指導する。〈生活〉
- ・指導すべきところを確認する。また、生徒の良い行いを認め、称賛する。〈生活〉
- ・昨年度より残食が少ないことから、好き嫌いなく食べていることが分かる。〈健康体力〉
- ・薬物乱用防止教室や性教育サポート事業の他、性と命の健康講座、エイズ予防講座、たばこに関する講座などの健康講座により、生徒の健康に関する意識が高まった。〈健康体力〉

【本校の特色・課題等】

- ・総合的な学習の発表会への取組を通して、活動をまとめる力・伝える力を身に付けている生徒が増えた。また、家庭学習ノートの提出を徹底させることで、生徒の家庭学習の取組を習慣化し、基礎的・基本的な内容を定着させたい。〈学習〉
- ・総合的な学習の時間の学習発表会を、学校行事の時期（社会体験、修学旅行など）によっては、内容の工夫や改善が必要である。〈生活〉

6 学校関係者評価

☆「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」及び「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」など、学校が行っている様々な教育活動や対応（個に応じた指導やいじめへの対応など）を保護者や地域住民に情報提供できているかに関して、学校ホームページの充実や各学年保護者会での丁寧な説明の実施が功を奏して肯定的認知度がより高まりかなり改善が見られるが、保護者等へ一層理解を図るためにどう取り組んだらよいか。

- ・昨年同様、学校がいじめや嫌がらせ事案に迅速かつ丁寧な対応をしてくれていることが、教職員や生徒の調査結果や先生方の話で確認でき安心した。まだ、保護者の調査結果が低いことは（市平均より高いが）、保護者がいじめや嫌がらせ事案に敏感になっていることや、親と子供の意思疎通がうまくいっていないことがうかがえる。そのため、学級での子供たちのようすをさらに分かってもらえるよう具体的な取組や子供たちのようすを折に触れ伝えてほしい。例えば、1ヶ月に1回程度の学級通信を発行するなどの方法でよい。また、Q U検査を効果的に活用してほしい。
- ・子供たちのようすを保護者に理解してもらうため、地区内の小学校でもほとんどの学級（学年）で学級便りを定期的に発行している。いじめ対応や学校行事など学校での取組を十分理解してもらいたい事項については、各種集会活動を実施したり、オープンスクールの際に保護者への説明の機会を設けたりした上で、その内容を学校便りや児童指導便り等で特集を組んで発信している。
- ・子どもが中学生になると、必要な通知を見せなかったり、保護者も仕事を理由に学校の教育活動に興味・関心が薄くなったりの傾向があるので、その意識を改善させる必要があるのではないかと。また、情報発信のタイミングも大切である。

☆今年度、生徒の肯定的回答の割合が減少した「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」、「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」及び「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」の課題に、どのように取り組んだらよいか。

- ・生徒が、自分や級友の状況を客観的に評価した結果であると思われるので、生徒会、学年及び学級等の集団で、生徒自身にこれらの課題を考えさせ、生徒の自主的な活動によって「中学校をさらによくしていこう」という改善策を考え、実行させるやり方が有効ではないのか。
- ・子供たちが努力していることや思っていることは大切にしてもらいたいので、子供たちにとって必要なことをどう伝えていくか工夫が必要である。たとえば、学校の清掃が行き届くよう具体的な指示が教職員からあるとよい。
- ・学年によって肯定的回答の割合は大幅に異なるので、学年や学級の状況を十分に把握し、生徒同士で相談させたり、対策を立てたりしてほしい。例えば、学級生徒数が多い学年では、教室環境を良好にするには収納関係の物的な整備を配慮するなどの具体策が必要である。

☆その他の事項について

- ・中学校のこれまでの実践や地域の実情を考慮し、上河内中学校の特色となる子供が主人公となる目玉となる活動を充実させてほしい。例えば、地区の福祉まつりなどに生徒の熱心な参加が見られたり、地区の高齢者も増加したりしているので、高齢者福祉関係の取組を充実させてみてはどうか。
- ・本校の生徒は、あいさつがよくできている。ただし、校内ではよくあいさつされるが、部活動によっては練習試合等で校外に出た際、必要な場面であいさつがよくできないことが多いので、先生方の指導を期待するとともに、保護者も積極的に指導してもよいのではないかと。小学校では縦割り班活動で上級生が面倒見てくれることがあるが、中学校では部活動がその機会になる。ことばづかいなどは家庭でのしつけが肝要である。
- ・読書の推進に関して、様々な取組が行われている状況に対して、子供たちが読書に興味を薄くすることが心配である。興味がある本を探すのが難しい側面もあるので、じっくり本を見付ける時間を創り出してほしい。また、読書の大切さや楽しさを味わえる機会を用意してもらいたい。
- ・昼休みの時間が短いのか、積極的に運動している生徒が少ないようなので、少しずつ運動できる機会が多くなるとよい。
- ・好き嫌いなく給食を食べているので、保護者と生徒の肯定的回答の割合が7割台で低いと思われるが、残食量が多くなることが心配なので、地産地消などを考慮して、学校農園の食材や新鮮な食材を利用し、少しでもおいしい給食を期待したい。
- ・PTA等で協議し次年度から廃品回収を中止するので、これまで廃品回収で補ってきた教育活動に必要な資金を捻出するため、地域協議会を中核にして次年度から「学校応援基金」の設立を図る。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

☆「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」及び「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」など、学校が行っている様々な教育活動や対応（個に応じた指導やいじめへの対応など）を保護者や地域住民に情報提供できているかに関して、学校ホームページの充実や各学年保護者会での丁寧な説明の実施が功を奏して肯定的認知度がより高まりかなり改善が見られるが、保護者等へ一層理解を図る。

- ・まだ、保護者の調査結果が低いことは（市平均より高いが）、保護者がいじめや嫌がらせ事案に敏感になっていることや、親と子供の意味疎通がうまくいっていないことがうかがえる。そのため、学級での子供たちのようすをさらに分かってもらえるよう子供たちの具体的な取組やようすを折に触れ伝える。例えば、1ヶ月に1回程度の学級通信を発行するなど
- ・昨年度と同様に、保護者会時の公開授業や各種学校行事で、生徒が熱心に取り組む姿を保護者や地域住民等に実際に参観してもらったり、学校HP等の様々な機会や方法で生徒が頑張る様子について情報提供をしたりする。また、教職員が生徒とともに熱心に取り組んでいる「いじめ0」のための取組について保護者会等で積極的に情報提供を行う。

☆今年度、生徒の肯定的回答の割合が減少した「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」、「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」及び「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」ことが十分行われていないという課題の改善に、積極的に取り組む。

- ・生徒が、自分や級友の状況を客観的に評価した結果であると思われるので、生徒会、学年及び学級等の集団で、生徒自身にこれらの課題を考えさせ、生徒の自主的な活動によって「中学校をさらによくしていこう」という課題意識をもたせて改善策を考えさせ、実行させる。その際、学年によって肯定的回答の割合は大幅に異なるので、学年や学級の状況を十分に把握し、その単位集団に応じた生徒間で相談させたり、対策を立てさせたりする。
 - ・落ち着いて学習に取り組めるよう、黒板周囲の掲示物の整理など特別支援教育的な配慮をした教育環境の整備に努める。そのために、荷物の整理整頓をさせるための環境整備が必要である。例えば、学級生徒数が多い学年では、教室環境を良好にするため、収納関係の物的整備を進める。また、各教室へ映像関係設備を充実させる。
 - ・生徒にきまりやマナーを守って生活させるために、指導すべきところを教職員間で確認する。また、生徒の良い行いを認め、称賛する。さらに、時と場面に応じた言葉づかいができるよう、教職員自身が模範となり、教職員（大人）への言葉づかいと生徒への言葉づかいとを良い意味で使い分けられるよう指導する。
- 教職員は、協力体制の中で、学習ルールや学習習慣の定着を図り、「分かる授業・できる授業」となるように、授業の教材研究や校内公開授業（一人一授業）の充実により、生徒の意欲を高め、より個に応じた支援を行うための指導力を高める。その際、本時のめあてをしっかりと具体的に提示し、見通しをもたせる授業を展開し、振り返り活動を充実させ、基礎的基本的内容の確実な習得を図る。なお、地域学校園の小学校と連携を図り、義務教育9年間を見通した学習指導を行う。

☆その他の事項について

- ・中学校のこれまでの実践や地域の実情を考慮し、上河内中学校の特色となる子供が主人公となる目玉となる活動を充実させる。例えば、地区の福祉まつりなどに生徒の熱心な参加が見られたり、地区の高齢者も増加したりしているので、高齢者福祉関係の取組を充実させる。その際、生徒会活動を中心にボランティア活動や思いやりのある行動をした生徒に対する表彰を行い、教育長奨励賞に推薦する。
 - ・PTA等で協議し次年度から廃品回収を中止するので、これまで廃品回収で補ってきた教育活動に必要な資金を捻出するため、地域協議会を中核にして次年度から「学校応援基金」の設立を図る。
- 地域学校園内の学習指導や生徒指導に関する各部会の活動を活性化し、各学校間の学力の向上や児童生徒理解を進展させる。
- ・定期健康診断の結果で異常があった場合には、早期の受診を勧めるとともに、保健だより等で望ましい生活習慣について啓発を図る。
 - ・「朝の読書」の時間が充実するように、廊下の掲示物を作成し、生徒の興味関心に応じた図書の選定、探しやすく見付けやすい図書室の配架、定期的な学級文庫の入替等を行い、図書を借りやすい環境作りをする。